

## 静岡てんかん・神経医療センター情報誌

令和6年 春 第76号

# あかり

A K A R I

3月26日は  
パープル・デー

パープル・デーとは、てんかんについて理解を深めてもらうための国際的なイベントです。当日は紫色の物を身につけて過ごします。

「てんかんセンター」って何？	1
第47回 てんかん専門職セミナーが 令和6年2月15日に開催されました	2
院外処方箋の【一般名処方】とは？	3
能登半島地震 被災地へ医療班として支援活動に行ってきました	4
パープル・デー2024	6
外来再診の診療体制/医療連携室	7
はじめて当院を受診される方へ/当院へのアクセス/本	8

## 「てんかんセンター」って何？

統括診療部長 臼井 直敬

4月初旬、漆山では桜が満開ですが、少子高齢化、診療報酬改定など、医療を取り巻く環境は厳しさを増しそうな新年度です。世界の先行きもなかなか見通せませんが、こんな中、あらためて「てんかんセンター」について考えてみたいと思います。

まず、日本のてんかん医療は必要な方にまだまだ十分行き渡っていません。静岡県内でも事情は同じです。困っている多くの患者さんにはぜひ「てんかんセンター」である当院の存在を知っていただきたいと思います。

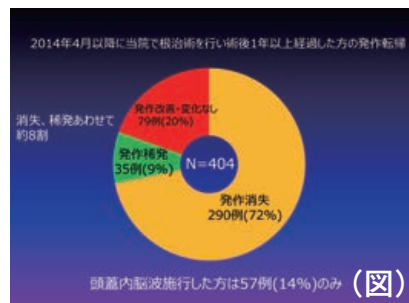
てんかんに限らず、診療では、「正しい診断」が大切です。しかし、「てんかん」ではこれが難しいことがあります。「てんかん」なのに「てんかん」と診断されていない人や、逆に、「てんかん」ではないのに、「てんかん」と誤診され不適切な治療がなされている人

も多いです。「てんかん」と正しく診断するには多種多様なてんかん発作および、てんかん発作に似た症状を起こす様々な病態を知っている必要があります。これは専門医でないとなかなか難しいのです。当院を初診された方の約3分の1の方の診断はてんかんではありませんでした。てんかんかどうかを正確に診断することも「てんかんセンター」の大事な役割です。

何種類ものお薬を試しても発作がよくなる人も多いです。そのような人では、検査入院しててんかん外科治療の可能性を検討する必要があります。当院ではてんかん外科手術を行っており、手術の数は日本で随一なのはもちろん(表)、世界的にも有数で、発作の抑制率も高いです。手術を行った方の大半では侵襲的な頭蓋内脳波検査を経ずに手術が可能

### 近年の当院のてんかんの外科治療件数（表）

年度	総数	根治術数	側頭葉			側頭葉外		多脳葉切除・離断	半球離断	脳梁離断	電極留置	電極抜去	VNS留置	VNS交換
			選択的扁桃体海馬切除	側頭葉前部切除	病巣切除	病巣切除脳葉切除								
2015	70	58	18	10	3	21	3	3	0	11	1	0	0	
2016	70	52	17	8	6	17	1	3	3	12	3	0	0	
2017	64	54	19	14	1	16	1	3	1	6	3	0	0	
2018	72	57	12	8	6	26	3	2	5	5	1	4	0	
2019	90	70	13	18	12	19	6	2	5	9	3	1	2	
2020	84	70	16	16	6	25	4	3	4	8	0	2	0	
2021	81	63	10	18	4	23	4	4	6	7	4	1	0	
2022	67	55	8	11	6	22	4	4	2	7	1	1	1	
2023	70	62	13	18	2	23	4	2	4	3	0	0	1	



であり、手術を行った方全体の約7割の方では発作が消失し、約1割の方では稀にしか起こらない程度まで発作が減少しています(図)。お薬で何十年も治療してきたが発作がよくなり、当院で手術を受けて発作から解放されている人も少なくありません。もっと早く当院のような「てんかんセンター」に来ていただければ、と思わずにはられません。

手術以外にも、病態に応じて免疫治療や食事療法などを行っており、このような治療選択ができるのも「てんかんセンター」ならではの強みです。

では、上に述べたような、検査や診断、手術などができれば「てんかんセンター」として十分なのでしょうか？決してそうではありません。てんかんを持つ人の悩みは発作だけではないことも多く、就労や社会生活で大きな悩みを抱えている方々がいます。

す。当院でソーシャルワーカーや看護師、リハビリスタッフが介入し支援を行うなど、多職種が包括的な評価と支援に取り組んでいます。皆さんの人生が多様なように、てんかんを持つ人の病状や困っていることも多種多様です。てんかんを持つ人の多様な困りごとに専門的かつ真摯にお応えすることが、「包括的てんかんセンター」である当院の大切な使命です。

また、当院は、静岡県のとんかん支援拠点病院として、医療だけでなく、県や各種機関との連携、啓発活動なども担っています。まだまだ、てんかんに対するいわれのない偏見、就職や生活上の差別に悩んでいる方がいます。てんかんを持つ人がより生活しやすくなるためには、社会が変わってゆく必要があります。将来的には、「てんかんセンター」が必要ではなくなる世の中になることを願っています。

## 第47回 てんかん専門職セミナーが令和6年2月15日に開催されました

診療放射線科 葛城 裕幸

「てんかんを持つ成人に関わる専門職を対象とし、てんかんに関する知識、生活支援を行う際の留意点、指導機関と医療との連携について理解を深め、また、専門職同士が情報を共有化し、援助のあり方を考える」を目的に成人てんかんの理解を深めていただくために開催しています。今回はコロナウィルス感染の影響で4年ぶりの開催となりました。

- |      |                     |   |
|------|---------------------|---|
| 講義内容 | ①「てんかんの基礎知識」        | 徳本 健太郎 (脳神経内科医師)                                |
|      | ②「てんかんを持つ人の発作対応」    | 田尻 浩 (副看護師長・院内認定てんかん看護師)<br>小島 早織 (院内認定てんかん看護師) |
|      | ③「てんかん患者さんの高次脳機能障害」 | 長田 英喜 (主任作業療法士)                                 |
|      | ④「抗てんかん発作薬について」     | 石谷 知津子 (薬剤師)                                    |

当院の医師、スタッフがそれぞれ講義を行いました。参加者の皆さんは熱心に講聴や質問をされていました。

勤務施設における入所者の発作時の対応についての質問が多く、普段の仕事に対する意識の高さがうかがえました。



講義後は病院内のてんかんに関わる設備や検査について見学していただきました。てんかんに関わる仕事をされている方の一助になれるようセミナーは来年度も開催予定です。興味のある方はぜひご参加ください。

## 院外処方箋の【一般名処方】とは？

薬剤部 矢嶋 隆宏

### 【一般名処方】とは？

処方箋は、通常「商品名」で記載されてきましたが、平成24年において厚生労働省から成分名である「一般名」での記載【一般名処方】の推進が示されました。

#### 処方箋の記載例

【商品名】ロキソニン錠60mg  
もしくは、  
ロキソプロフェンNa錠60mg「サワイ」  
【一般名】【般】ロキソプロフェンNa錠60mg

医薬品の中には後発医薬品(ジェネリック医薬品)が多くの製薬企業から販売されている場合も多く見られます。製薬企業によって薬に含まれる添加物は異なるものの、治療で重要とされる主成分、効能・効果・用法が同じであれば商品にかかわらず同等とされます。つまり、これまで「商品名」で処方されていた薬も「一般名」で処方されたどの薬を用いても治療に影響を及ぼさないことになります。

### 【一般名処方】のメリットとは？

- ①保険薬局での薬の管理が容易
- ②保険薬局での入手困難な薬への対応に有用
- ③患者さんによる薬の選択が可能

大きく以上の3つが考えられます。①調剤してもらう保険薬局においては、同成分の薬が多く販売されているなか、多くの医療機関からの処方箋に対して各々の医師が処方した「商品名」の薬を取り揃えておくことは不可能です。保険薬局は、【一般名処方】となれば保険薬局側での商品の選択が可能となり、在庫状況などの管理が容易となります。

②「あかり」(令和4年春・夏号69号)「医薬品の供給不足が続いています」において、製薬企業のトラブルによる製造停止・出荷制限の現状とその影響に対する対応について紹介しました。保険薬局においては、治療に不可欠なため、入手可能な商品を取り揃えなければなりません。これは、私たち病院薬剤師も同様に薬の供給・管理は重要な責務であり、安定供給へのやり繰りは大変な作業となっています。院

外処方においては【一般名処方】であれば商品を限定しないため流通状況に合わせて入手可能となります。

③患者さん側のメリットとしては、【一般名処方】の場合、保険薬局にてこれまで通りの薬の調剤も可能で、患者さん自身が「先発医薬品」か「後発医薬品」を選ぶことも出来るようになります。

### なお続く医薬品の供給不足な状況！

報道されている通りコロナ感染症に用いられる解熱・鎮痛薬、咳止め薬、去痰薬などは、入手困難な状況が深刻であり、さらに【一般名処方】は、有効な手段となり得ます。

### 当院の対応は

これらに対応するために、令和5年7月3日より、当院で発行する院外処方箋は、抗てんかん発作薬を除く一部の薬に対して【一般名処方】の記載に変更しました。

さらに深刻化する薬の供給不足に対応するために、令和6年3月12日から、対象薬剤を随時拡大させてもらいました。

### 【一般名処方】に関する注意事項は

すべての薬が、【一般名処方】になるわけではありません。医師が商品名を指定する場合や当院で取り決めた薬、後発医薬品のない薬については、これまで通り「商品名」での表記となります。(この様な場合には、処方箋左の「変更不可」の枠内にチェック(×印)が入ります。)

保険薬局にて、薬剤師からの説明を聞き、薬に関する希望があれば伝えてください。

### 最後に

【一般名処方】に関する案内は、病院内の掲示、当院ホームページ内の薬剤部からのお知らせを確認してください。長期間にわたる薬の供給不足は大きな社会問題となっております。この現状に対応するために病院側と保険薬局が連携しつつ患者さんの継続治療につながるよう努めて行きます。何か、不明な点などがありましたら、薬剤部窓口もしくは電話にてお問い合わせください。

## 能登半島地震 被災地へ医療班として支援活動に行ってきました

令和6年1月元日の能登半島地震において被災された皆様に心からお見舞い申し上げます。

国立病院機構(NHO)は、最大震度7を観測した能登半島地震に対して医療班を派遣し、医療支援を行いました。活動は2月18日をもって終了しています。

当院では、2月2日から2月6日まで職員5名(医師：1名、薬剤師：1名、看護師：2名、事務員：1名)が医療班として石川県輪島市で活動をしてきました。

### 2月2日

当院を出発し石川県金沢市へ



NHO現地対策本部(金沢医療センター)で  
打ち合わせ



NHO現地対策本部  
(金沢医療センター)



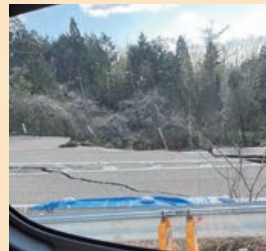
### 2月3日

金沢市から輪島市へ

### 2月3日から5日

調整本部(輪島市役所)で担当避難所の  
指示を受け担当避難所での活動

鳳至公民館、県立輪島高校、河原田小学校、  
輪島市立輪島中学校を担当しました。



金沢市から輪島市へ移動中



輪島市地域保健医療福祉調整本部  
(輪島市役所)



調整本部内の様子

NHOは日本赤十字と連携し、  
医療ニーズのある避難所の状  
況や依頼内容を確認してから  
出発しました。避難場で活動  
した後は、再び調整本部に戻  
り活動内容を報告しました。



道路は車両が通行できるよう整備されているもの、  
建物はいつ崩れてもおかしくないような  
状況でした。

履物を下履きから上履きに履き替えて、避難所で生活されている方のお話を伺いました。



日中は、片付けのために自宅に戻られている方が多かったです。

被災者の健康状態の確認を行いながら、不安や悩みを傾聴しました。

認知症の方や出産直後の方、そして入浴を拒否する方など、さまざまな背景や状況を持つ方々が同じ空間で生活することの困難さを痛感しました。



避難所の担当者の方からもお話を伺いました。



避難所では感染予防として換気を心がけていました。室内は暖房器具があり温かかったですが、換気をすれば室温は下がるので、室温の調整が難しいとのことでした。

シーツや寝具の交換は思うようにできないため、感染対策が思うようにできないことへの不安が聞かれました。



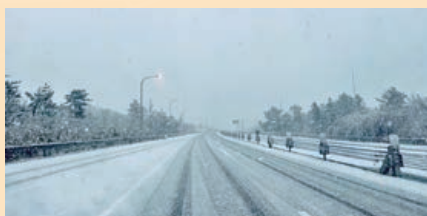
発熱者や胃腸炎患者の診察・治療を実施しました。

特に便秘で悩まれている方が多く、

運動不足や食生活の変化が影響していると思われました。下剤を使いたくても仮設トイレを占有してしまっただけでは困るという思いから、下剤が使えないといった声も聞かれました。

## 2月5日

輪島市から金沢市へ移動し、NHO現地対策本部で活動報告



輪島市から金沢市へ移動中

## 2月6日

金沢市から当院へ



病院長に活動を報告

医療班は、被災地の医療ニーズに応えるために、急患対応や健康相談など幅広い活動を行いました。また、全国から来た医療班との連携に努めました。その間、地元の方々からは温かい支援と感謝の言葉をいただき、被災地での活動が大変有意義なものとなりました。私たちの活動が少しでも、被災された方や支援されている方のお力になったことを願います。

今後も、被災地の復興に向けてNHOは積極的な支援を続け、地域の健康と安全のために努めてまいります。

# パープル・デー2024

パープル・デーは、毎年3月26日にてんかんへの関心、意識を高めるために、紫色の物を身に着け、世界中で活動を行っています。当院においてもパープル・デーに合わせ、さまざまにてんかんの啓発活動を行っています。



静岡英和女学院様によるハンドベルクワイヤ演奏



アークコネクトしずおか様による大道芸ステージ

新型コロナウイルス感染拡大により、大規模なイベントが行えない状況が続いており、ここ数年間のパープル・デーは、院内ではイベントを自粛し、紫色の飾り付けを行うのみにとどまっておりました。今年パープル・デー当日に、どなたでも自由に参加できるイベントを

行うことができました。「静岡英和女学院様」、「特定非営利活動法人アークコネクトしずおか様」を病院へお招きし、ハンドベルクワイヤや大道芸を披露いただきました。また、病院職員によるワークショップを同時に開催し、多くの方にパープル・デーについて知って頂く機会



病院職員によるワークショップ(オーナメント作り等)

となりました。

また、院外においても、サッカーJ2の藤枝MYFC様のホーム開幕戦にて入場者にパープル・デーにかかるグッズを配布したり、静岡市役所において開催されるイベント(ライトアップ点灯式)へ出展したりするなどさまざまな啓発活動を行いました。



紫色に点灯されたあおい塔ドーム

てんかんが誰にでもかかりうる可能性があり、いろいろな症状があることを理解して頂き、一人でも多くの方が早期発見、治療につながるようになっていくよう、これからもてんかんに関する活動を行ってまいります。



藤枝総合運動公園サッカー場にてパープル・デーに関するグッズ配布を実施



# 診 療 体 制

## てんかん科

午前の診療時間は8:30~12:00 午後の診療時間は13:00~16:30

診察室	初 診					再 診				
	月	火	水	木	金	月	火	水	木	金
第1診察室							山崎悦	川口	山崎悦 (AM)	白井
第2診察室						徳本		荒木		
第3診察室	大谷 英之			白井 直敬			西田			西田 (AM)
第4診察室								日吉	宮下	川口 (AM)
第5診察室							水谷			小川
第6診察室						芳村			芳村	澤木
第7診察室			山口 解冬	荒木 保清			荒木			山口
第8診察室		今井 克美		今井 克美	今井 克美	今井		高橋		
第9診察室		川口 典彦	山崎 悦子			重松			大谷	大谷
第12診察室	西田 拓司		西田 拓司		芳村 勝城					

## 脳神経内科

■ 初診

診察室	曜日	月	火	水	木	金
第10診察室	午前	高嶋	小尾	小尾		小尾
	午後	小尾 智一	小尾 智一	小尾 智一		小尾 智一
第11診察室	午前	杉浦	杉浦	寺田		
	午後	寺田 達弘		寺田 達弘		尾内 康臣 第4週
第13診察室	午前			高嶋		

## 特殊外来

認知症疾患医療センター 月・水 小尾 智一

再来診療は予約制です。予約が出来ない場合は午前中にお越しください。

## 地域医療連携室のご案内

医療機関間のコミュニケーションを円滑に行なうために、地域医療連携室を設置しています。ご利用ください。(平日)

T E L ■ 054 - 246 - 4580

F A X ■ 054 - 246 - 4607

E-mail ■ 307-renkei@mail.hosp.go.jp

当院では、脳波、筋電図、誘発電位、終夜ポリグラフ、CT、MRI、SPECTなどの検査が可能です。共同利用も可能です。上記、地域医療連携室にお問い合わせください。

## 広報誌編集委員会

編集人 ■

西田 拓司 青木 裕子 石橋 綾子  
内野 達宏 渡邊 宏美 夏目 規生  
堀 友輔 高橋 輝 長田 英喜  
加治 豪廣

発行 ■ 令和6年5月10日

国立病院機構

静岡てんかん・神経医療センター

〒420-8688 静岡市葵区漆山886

T E L ■ 054 - 245 - 5446

F A X ■ 054 - 247 - 9781

U R L ■ <https://shizuokamind.hosp.go.jp>

E-mail ■ 307-shizuokamind@mail.hosp.go.jp

## はじめて当院を受診される方へ

### ◆診察は予約制になっています◆

#### 1 受診のための手続きは…

予約は、本人・家族は予約センター(054-246-1065)、病院からは地域医療連携室(054-246-4580)  
 その際、ご本人の氏名・性別・生年月日・住所・電話・保護者氏名をお尋ねいたします。電話をいただきますと、その場で受診日を決め、折り返し当院からくわしい書類をお送りいたします。

#### 2 緊急を要する時は…

受診日は病状に応じてできるだけ対応いたしますので、緊急を要する時はその旨をご連絡ください。

#### 3 紹介状について

紹介状がない場合については、令和6年5月31日までは2,750円、令和6年6月1日からは7,700円の別途費用がかかりますのでご了解ください。病院からの資料もあれば望ましいですが、なくても結構です。

#### 4 セカンドオピニオンについて

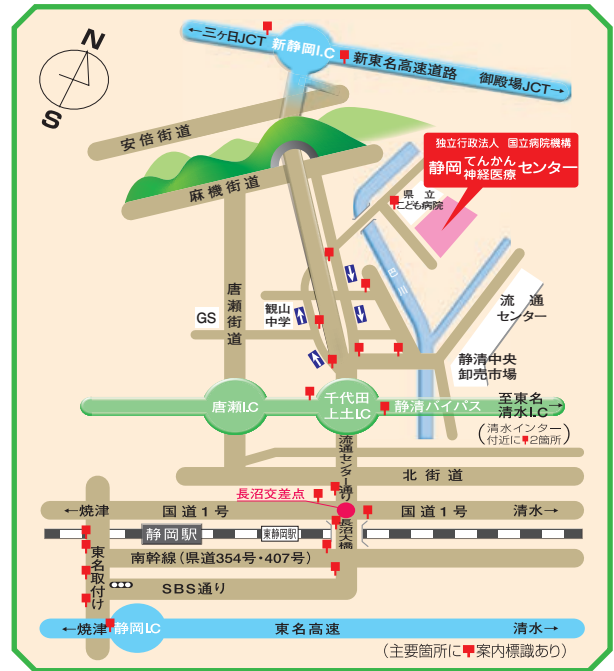
セカンドオピニオンもお引き受けいたします。

#### 5 静岡市認知症疾患医療センターについて

認知症の受診やご相談は専門医療相談 ☎054-246-4608

## 当院へのアクセス access

バスをご利用の場合	● JR静岡駅前、北口バスターミナル5番線より静岡鉄道バスにて、こども病院線「67 こども病院・神経医療センター」行に乗車、終点の「静岡神経医療センター」で下車。全所要時間は約30分。片道料金は大人370円、小児190円。
タクシーをご利用の場合	● JR静岡駅前(北口)より乗車。所要時間は約20分。料金は2,500円程度。
お車の場合	● 東京方面から ● 東名高速清水インターより、静清バイパスを静岡方面に向かい、千代田・上土出口から流通センター通りを北へ約3分。所要約20分。 ● 御殿場JCTで新東名高速道路へ乗換。新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。
	● 名古屋方面から ● 東名高速静岡インターより、国道1号線を清水方面に向かい、長沼交差点を左折、流通センター通りを北へ約10分。所要約30分。 ● 新東名高速道路・新静岡ICより、案内板に従い直進。所要時間約7分。



## 本

### ●抗てんかん薬ポケットブック(改訂第6版)

【日本てんかん協会、2016年】

禁忌、重大な副作用、重大な副作用疾患別症状、体内動態と主な副作用、相互作用、抗てんかん薬プロフィール、新規抗てんかん薬の開発状況、Q & A、識別コード(錠剤のみ)を掲載。

### ●エキスパートが語る てんかん診療実践ガイド

【日本医事新報社、2022年7月】

静岡てんかん・神経医療センターの専門医が中心となり、てんかんの診断・分類から薬物治療、社会生活のアドバイスまでを体系的に解説。

- ・てんかん発作と間違いやすい症状・疾患との鑑別を丁寧に取り上げ、誤診を防ぐための知識をふんだんに紹介。
- ・薬物治療についても、併存症や副作用、減薬など、判断に迷うことの多い疑問にやさしく回答しました。

### ●新 小児てんかん診療マニュアル 【診断と治療社、2019年】

多くの読者に支えられ改訂を重ねてきた本書。今回、2017年の新しいILAE てんかん発作分類提案に基づいた小児てんかん診療を可能とするために、ここに「新版」として生まれ変わりました。新規抗てんかん薬だけでなく、新分類で重視される病因別の特徴や心因性非てんかん発作、遺伝子検査、MRSといった新しい画像検査など、てんかん学の進歩をたくさん詰め込みました。

### ●プライマリ・ケアのための 新規抗てんかん薬マスターブック(改訂第2版)

【診断と治療社、2017年】

「副作用のない治療によるてんかん発作の完全抑制」は、治療を担当する医師および患者さんとそのご家族にとって、切実な願いです。

2006年以降、「新規抗てんかん薬」とよばれる新しい抗てんかん薬が順次発売され、今後しばらく、新規抗てんかん薬の発売が続くと予想されています。本書は、これらの新規抗てんかん薬の使い方をわかりやすく解説したものです。小児と成人に分けて、エビデンスやガイドラインに基づいて、当院のスタッフがわかりやすく執筆しています。当院高橋幸利先生の編集です。

## てんかん情報センターのご案内

てんかんに関するさまざまな情報を集積したセンターが外来棟1階にあります。どうぞご利用ください。次の活動を行っています。

- 1 てんかんに関する書籍・雑誌・ビデオなどの閲覧・貸し出し(自己学習)
- 2 ホームページによる情報提供 <https://shizuokamind.hosp.go.jp/epilepsy-info/>
- 3 てんかん協会との連携
- 4 医療などの相談(予定)